

令和3年度 ふるさと納税による寄附募集登録 募集要項

神戸歴史遺産支援事業 助成対象事業募集要項

神戸歴史遺産を継承していくために、ふるさと納税を通じて広く寄附を募集し、寄附金を助成金として役立てる新たな助成制度を設けました。集まった寄附金に加え、それと同額を上限とする市費をあわせて助成します。

神戸歴史遺産の保存、活用、継承のための事業に活用いただけます。

◆申請受付：令和3年8月18日（水）～令和3年9月17日（金）

◆〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1（市役所1号館19階）

神戸市文化スポーツ局文化財課 電話：078-322-5798

Fax：078-322-6148

メール：bunkazai@office.city.kobe.lg.jp

目次

1	制度の概要	1
	(1) 助成金の範囲	
	(2) ふるさと納税を利用した寄附金募集と助成金交付までの流れ	
	(3) 対象事業	
	(4) 対象者	
	(5) 対象経費	
2	寄附募集登録申請方法	5
	(1) 寄附募集登録申請書類	
	(2) 寄附募集登録申請書類の提出方法	
	(3) 寄附募集登録申請書類の提出期間	
	(4) 寄附募集登録申請後の取り扱い	
	(5) 留意事項	
3	寄附募集登録申請書類の作成方法（記入例）	6
	(1) 寄附募集登録申請書	
	(2) 事業計画書	
	(3) 収支予算書	
	(4) 団体概要書	
4	寄附募集登録申請内容の変更について	10
5	関係要綱及び様式集	10

1 制度の概要

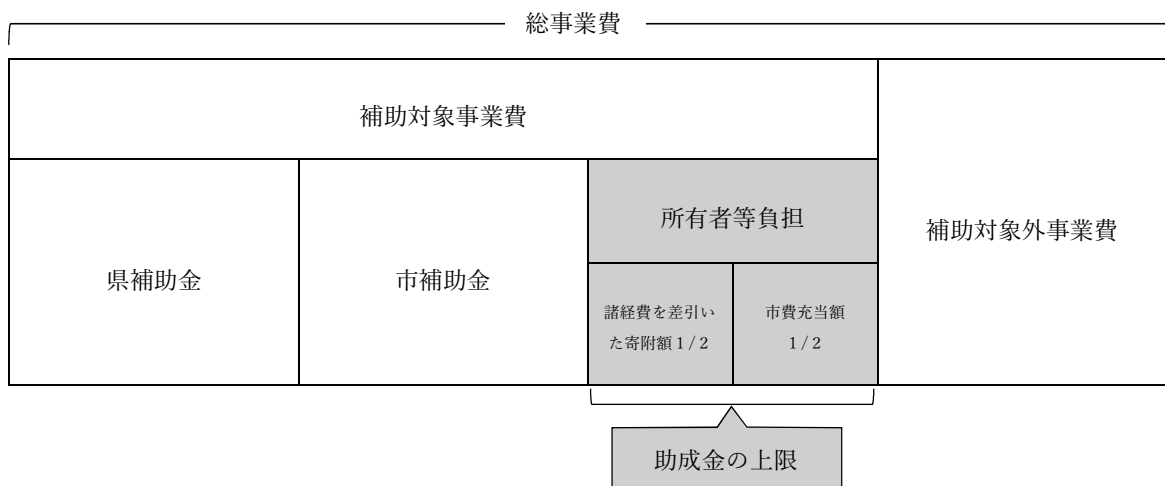
(1) 助成金の範囲

助成金の範囲は、国・県・市による指定等文化財と新しく認定された神戸歴史遺産の補助の対象として認められた事業費のうち所有者負担部分です。

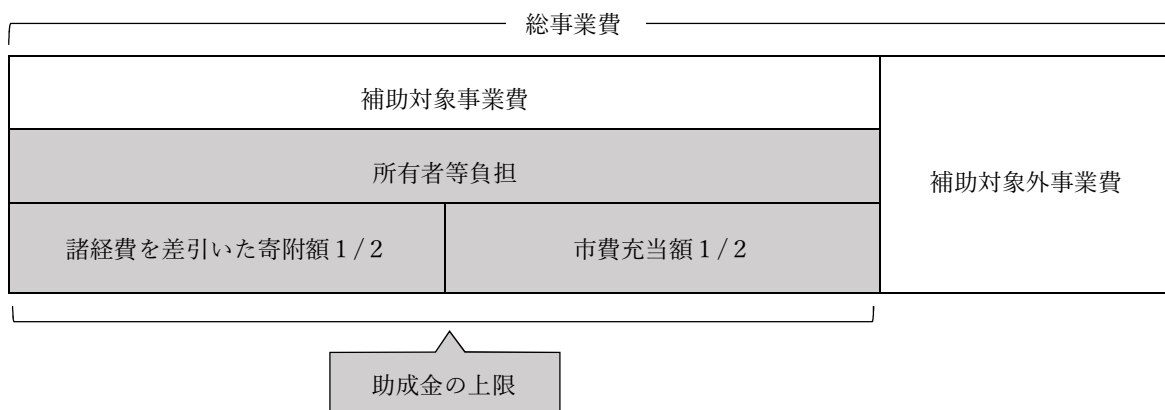
また、通常の文化財補助金の対象事業ではない場合も、神戸歴史遺産助成制度の対象事業となる可能性がありますので、ご相談ください。

ふるさと納税を利用した寄附募集を行い、諸経費分（35%）を差し引いた寄附額に、それと同額を上限とする市費を充当して助成します。ただし、予算の範囲内です。

* 国・県・市による指定等文化財（県指定文化財の場合）



* 新しく認定された神戸歴史遺産の場合



(2) ふるさと納税を利用した寄附募集と助成金交付までの流れ

		神戸市	申請者		
			令和3年度事業	令和4年度事業	
令和3年度	8月	寄附募集登録受付・事業 審査 ←	寄附募集登録申請 事業計画書、収支予算書、見積書等を添付して、 寄附募集することについて申請します。		
	9月	寄附募集登録通知書 寄附募集額(目標額)を通知 します。 →	事業実施可能	→	
		ふるさと納税寄附募集 「ふるさとチョイス」等により募集しますのでPRにご協力ください。			
					10月
					11月
	12月				
	1月	令和3・4年度事業寄附 額及び助成予定額の通知 ←	助成金交付申請 事業計画書、収支予算 書、見積書等添付 →	→	
	2月	令和3年度事業 助成金交付決定通知 →			
3月		事業終了後、実績報告 書の提出 ←			
令和4年度	4月	令和3年度事業実績報告 審査後、助成金額の確定 令和3年度事業助成金の 支払い ←	助成金の請求 →	助成金交付申請 事業計画書、収支予算 書、見積書等添付	
	5月	令和4年度事業 助成金交付決定通知 ←		事業実施 実績報告後、助成金交付 手続きへ →	

文化財の名称等を明示し、寄附者が応援したい神戸歴史遺産を選択できるようにしますので、関係者やお知り合いへのお声かけを行いやすくなります。

当該年度の事業（令和3年度事業）、もしくは次年度予定の事業（令和4年度事業）が寄附募集の対象になります。複数年度による事業計画も可能です。

寄附募集額（目標額）を超えて寄附金が集まった場合、超えた額は神戸歴史遺産全体のPR経費等に用いることとします。

寄附金額が寄附募集額（目標額）に達しなかった場合でも、事業を実施する必要があります。事業内容の変更は可能ですが、事前に実行性について十分にご検討をお願いします。

（3）対象事業

助成制度の対象とする事業は、以下のいずれにも該当する必要があります。

- ①継承のために必要な事業
- ②所有者等の同意が得られている事業
- ③所有者等に活用の展望がある事業
- ④成果を公開することができる事業

事業の例

- ・住居としている建物の歴史的な特徴を伝えるために修理をする。
- ・住居としている茅葺建物に今後も居住し続け、歴史的な特徴を伝えるための屋根の葺き替え修理をする。
- ・地域で管理するお地蔵さんの覆屋を補修する。
- ・地域の民俗芸能や伝統行事に用いる用具や衣装等を修理する。
- ・地域の祭礼行事保存会における新規入会者等への特別練習を行う。
- ・地域の民俗芸能や伝統行事を継承するために記録作成などを行う。
- ・歴史的な建物の活用のために調査及び記録作成を行う。
- ・管理運営している建物を今後も広く公開活用していくために、歴史的な特徴を伝えるための修理をする。
- ・堂内の仏像を保護するために、防犯・防災のための監視カメラを設置する。
- ・防災のために必要な設備を設置する。
- ・地域の民俗芸能や伝統行事を周知するために、講座、講演会、体験イベント、広報活動を行う。

(4) 対象者

神戸歴史遺産の所有者等又は保存と活用を支援しようとする団体を対象者とします。

(5) 対象経費

助成対象となる経費は、以下の通りです。

- ①修理にかかる経費
- ②継承者育成にかかる経費
- ③記録作成にかかる経費
- ④災害等による被害の復旧にかかる経費
- ⑤公開・活用のための改修にかかる経費
- ⑥防犯・防災設備の設置・改修にかかる経費
- ⑦継承のための活用事業にかかる経費

ただし、以下の経費等は対象外です。

- ・神戸歴史遺産の保存・活用・継承に必要とみなされない経費
- ・経常的な維持管理経費
- ・主に営利を目的とした経費
- ・指定等文化財以外の宗教者のみによる儀式に関わる経費
- ・租税公課
- ・減価償却費
- ・食糧費
- ・交際費
- ・諸謝金（事業にかかる経費の場合を除く）
- ・退職給付費用
- ・役員報酬
- ・福利厚生費及び雑費
- ・本市または本市外郭団体から請け負った委託事業に伴う支払い経費
- ・補助金を財源とした事業の経費（指定等を受けた文化財の補助事業の経費は除く）
- ・その他市長が不相当と認めた経費

2 寄附募集登録申請方法

(1) 寄附募集登録申請書類

寄附募集登録申請に提出いただく書類は以下の通りです。

記入方法については、p 6～9をご参照ください。

- ①寄附募集登録申請書（様式第8号）
- ②事業計画書（別記様式あり）
- ③収支予算書（別記様式あり）
- ④団体概要書（別記様式あり 申請者が団体のときのみ提出）
- ⑤その他資料（見積書、工事計画図面、現況写真、位置図など）

(2) 寄附募集登録申請書類の提出方法

- ・寄附募集登録申請書類 1 式を 1 部提出ください。（提出後の書類は返却いたしません。）
- ・郵送またはメール（PDF 形式）による提出も可能です。
- ・提出先 神戸市文化スポーツ局文化財課 文化財保護活用係
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1（市役所1号館19階）
メール bunkazai@office.city.kobe.lg.jp

(3) 寄附募集登録申請書類の提出期間

令和3年8月18日（水）～令和3年9月17日（金）必着

(4) 寄附募集登録申請後の取り扱い

神戸歴史遺産支援事業として適当と判断する事業について、寄附募集登録通知書を通知します。この通知書の中で、寄附募集額（目標額）を通知します。寄附募集額（目標額）は助成対象経費の半額に寄附にかかる諸経費（35%）を上乗せした金額です。ただし、予算の範囲内で寄附募集額（目標額）を設定します。

(5) 留意事項

寄附募集登録申請件数や事業規模などにより、申請総額が今年度予算額を超えた場合、予算の範囲内になるよう、各々の寄附募集額（目標額）を減じる場合があります。

申請書類の内容（写真等）について、ふるさと納税寄附募集に必要な範囲で、ホームページ・チラシ等の広報活動に使用します。

3 寄附募集登録申請書類の作成方法（記入例）

(1) 寄附募集登録申請書

様式第8号(第14条関係)

年 月 日

神戸市長宛

①

住所	※申請者が個人の場合は個人名、団体の場合は団体名、代表者職名及び代表者名を記入ください。
申請者名	※申請者の連絡先を記入ください。電話番号、携帯電話番号、メール、FAXなど日頃連絡の取りやすいものを記入ください。
電話番号	
E-mail	

神戸歴史遺産支援事業 寄附募集登録申請書

神戸歴史遺産の認定及び神戸歴史遺産支援事業助成金交付要綱第14条の規定により、下記のとおり寄附募集登録を申請します。

記

1 神戸歴史遺産の名称	②	※指定等文化財の場合はその区分も記入してください。
2 所在地	③	※歴史遺産の所在場所（地番又は住所）
3 事業の名称	④	※例：〇〇修理事業、〇〇伝承講座
4 事業の目的及び内容等	⑤	※例：北側外壁の塗装、祭り用具欠損箇所の補修、伝統舞踊の体験を通して歴史を学ぶ
5 事業の期間	⑥	※余裕をもった期間を設定してください。
開始	年 月 日	完了
完了	年 月 日	
6 事業費		
総事業費		円
助成申請額		円
7 添付書類	⑦	<p>(1) p7参照 (2) p8参照 (3) p9参照 (4) 修理等の場合、見積書を添付してください。3社以上の見積合わせ結果が望ましいです。その他、工事計画図面、現況写真など添付ください。 体験講座などの場合、会場位置図、レンタル費用の見積書などを添付ください。</p>
(1) 事業計画書		
(2) 収支予算書		
(3) 団体概要書		
(4) その他資料（見積書等）		

(2) 事業計画書

別記 様式第8号(第14条関係)

事業計画書

神戸歴史遺産の名称	① ※指定等文化財の場合はその区分も記入してください。
所在地	② ※歴史遺産の所在場所（地番又は住所）
事業の名称	③ ※例：〇〇修理事業、〇〇伝承講座
事業の目的及び内容等	<p>④</p> <p>※例：建物北側外壁の塗装が退色し、剥離している箇所もある。他の側面と同じ色で塗装し、外観の美装化を目的とする。</p> <p>祭りに使用する用具の一部が機能しなくなっている。この箇所を補修する。併せて可動部分の補強、全体のクリーニングを行う。</p> <p>伝統舞踊の体験を通して、地域の文化や歴史を学ぶことを目的とする。小中学生を対象に1週間の連続講座とし、礼儀作法、舞、唄、鳴り物を一通り体験する。</p>
事業の期間	<p>開始 年 月 日</p> <p>完了 年 月 日</p> <p>⑤ ※余裕をもった期間を設定してください。</p>
事業費	<p>総事業費 円</p> <p>助成申請額 円</p>

(3) 収支予算書

別記 様式第8号(第14条関係)

収 支 予 算 書

1 収入の部

(金額単位:円)

科目	予算額	摘要
助成申請額		
その他支援金・助成金	※指定等文化財の場合、文化財補助金予定額を記入。	
その他収入	※参加費など参加者から徴収するものなど。	
自己負担金		
計		

2 支出の部

(金額単位:円)

科目	予算額	摘要
※具体的な支出項目を記入してください。		
例：工事費、会場費、レンタル料、外部講師謝礼など		
計		※金額を一致させる。

注 1 収支の計は、それぞれ一致するように記入ください。

(4) 団体概要書

別記 様式第8号(第14条関係)

団 体 概 要 書

団体名称	(よみがな) ① ※団体名を記入ください。
団体設立年月日	② ※設立年月日を記入ください。
事務局又は代表者の連絡先	〒 ③ TEL E-mail ※代表者、または事務局などの連絡先を記入ください。日頃連絡の取りやすいものを記載ください。
組織	代表者氏名：④ 会計者氏名： 監事氏名： その他構成員： 名 ※組織の情報を記入ください。
設立目的	⑤ ※団体の設置目的を記入ください。 例：〇〇の保存及び後継者育成
団体への加入条件	⑥ ※団体への加入条件を記入ください。 例：〇〇に賛同する者
過去の活動実績	⑦ ※過去の活動実績を記入ください。 ※補助金や支援金がある場合は、事業名、金額、担当部署を記入ください。
神戸歴史遺産の活用計画	⑧ ※今後の活用計画、方針などについて、記入ください。

注 1 団体規約を添付してください。

4 寄附募集登録申請内容の変更について

寄附金額が寄附募集額（目標額）に達しなかった場合でも、事業を実施する必要があります。寄附募集登録申請ののち、事業内容等の変更があった場合は、助成金交付申請書（様式第 12 号）提出の段階で変更してください。

事前に、事業の実行性について十分にご検討をお願いします。

5 関係要綱及び様式集

・「神戸歴史遺産の認定及び神戸歴史遺産支援事業助成金交付要綱」

神戸市 HP トップページ>市政情報>条例・規則・要綱>要綱等>

文化スポーツ局が所管する要綱等>文化財課の要綱等 をご覧ください。



URL <https://www.city.kobe.lg.jp/documents/10151/rekisiisanyoukou20210401.pdf>

・「様式集」

神戸歴史遺産ページの制度概要に Word で掲載していますので、ご利用
ください。

神戸市 HP トップページ>観光・文化・産業>文化>文化財・民俗芸能>

神戸の文化財>神戸歴史遺産



URL

<https://www.city.kobe.lg.jp/a21651/kanko/bunka/bunkazai/estate/oshirase/koberekishiisan.html>